

部局名	教育委員会	所属名	教育総務課 文化財班	所属長名	高橋 博	電話	481-0300
-----	-------	-----	------------	------	------	----	----------

## 1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3790	事務事業名称	文化財保護普及事業				短縮コード	経常	3790	臨時	3791	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等		文化財保護法							
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
文化財保護法や千葉県文化財保護条例を受け、昭和46年に八千代市文化財保護条例を制定し、市民共有の財産である文化財を保護し、その保存と活用のため必要な措置を講じ、それにより市民の文化向上と文化の進歩に貢献すべく事業を開始した。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱(章)	02	人間尊重都市をめざして					
開発が次々と進められており、埋蔵文化財の発掘調査は今後も増えるものと判断する。					大項目(節)	05	文化					
					中項目	02	文化財					
					小項目(施策)	01	文化財の保護と活用					
					細項目	01	文化財調査の推進					
						02	文化財の保護					
								実施計画の計画事業				
計画事業の位置付けの有無			<input type="checkbox"/>	計画事業期間	平成19年4月 ~ 平成20年3月		計画事業費	千円				

## 2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定文化財の対象者</li> <li>市域(埋蔵文化財)</li> </ul>						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成19年度に実際に行ったこと： <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財審議会の開催</li> <li>指定文化財の所有者や管理者に対する補助金の交付</li> <li>古墳時代中期の古墳出土の文化財として貴重な文化財であり、豪族のより位の高い者が亡くなったときの埋葬に使われる副葬品である「石枕」について、市の文化財に指定した。</li> <li>埋蔵文化財の発掘調査</li> </ul> ※平成20年度に計画していること： <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財審議会の開催</li> <li>指定文化財の所有者や管理者に対する補助金の交付</li> <li>埋蔵文化財の発掘調査</li> </ul>						
意図 (何を狙っているのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>未指定を含む文化財の保護</li> <li>埋蔵文化財を保護し、記録保存する。</li> </ul>						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	入力対象外						
区分	指標	指標内容	単位	18年度	19年度		20年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	指定文化財の数	件	24	24	25	26
	指標2	市域の面積	km <sup>2</sup>	51.27	51.27	51.27	51.27
	指標3						
活動指標	指標1	指定文化財の所有者及び管理者	人	17	17	17	17
	指標2	発掘調査した遺跡の面積	m <sup>2</sup>	1,915	5,000	3,095	3,000
	指標3						
成果指標	指標1	指定文化財の所有者及び管理者	%	100	100	100	100
	指標2	発掘・調査・整理した遺跡の数	箇所	20	15	18	15
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3790	事務事業名称	文化財保護普及事業		所属名	教育総務課 文化財班	
	単位	18年度		19年度		20年度	
		実績		計画		実績	
事業費(A)	財源内訳	国	千円	2,750	2,000	2,000	1,750
		県	千円	687	500	500	437
		地方債	千円				
		一般財源	千円	8,458	6,600	6,257	6,365
	その他	千円					
主な事業費の内訳		<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財審議会の開催(1回)106</li> <li>指定文化財の所有者や管理者に対する補助金の交付(22件)503</li> <li>市内遺跡の発掘調査(8件)5,000</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財審議会の開催(2回)212</li> <li>指定文化財の所有者や管理者に対する補助金の交付(22件)503</li> <li>市内遺跡の発掘調査(10件)4,852</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財審議会の開催(2回)212</li> <li>指定文化財の所有者や管理者に対する補助金の交付(22件)503</li> <li>市内遺跡の発掘調査(10件)3,095</li> </ul>	
人件費(B)		千円	25,339.5	25,306.5	28,859.6	25,306.5	
トータルコスト(A)+(B)		千円	37,234.5	34,406.5	37,616.6	33,858.5	

### 3. 事務事業の評価(S E E)

評価類型	評価事項	評価区分	理由					
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	上位の施策「文化財の保護と活用」を推進するために、文化財保護普及事業を実施しており、結びついている。					
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある						
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない						
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項						
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	民間業者の開発事業に伴って発掘調査は、今後も行わなければならない。						
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない							
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項							
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	文化財審議を行ったり、指定文化財への補助金を交付している事業であることから、民営化は不向きである。 市内遺跡調査事業については、市が直接実施することを前提とした国・県補助事業であることから、民営化はできない。						
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない							
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項							
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	これからも、文化財を文化遺産として後世へ継承していくため、原状のままでよい。						
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある							
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項							
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財審議や指定文化財への補助金の交付事業は、委託には不向きである。</li> <li>埋蔵文化財調査事業については、市が直接、実施することを前提とした国・県補助事業であるため、民間委託はできない。(出土物の保存処理など専門的な内容で外部委託が可能なものについては、すでに実施済み)</li> <li>文化財審議や指定文化財への補助金交付は、業務プロセスの見直しやIT化は図れない事務事業である。</li> </ul>					
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある						
		<input type="checkbox"/> 両方可能性はある						
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない						
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)		
		<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用				2		実施主体(所管部署)
		<input type="checkbox"/> IT化等業務プロセスの見直し						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し							
	<input type="checkbox"/> 上記以外の方法							
	<input type="checkbox"/> ある							
	<input type="checkbox"/> ない							

コード	3790	事務事業名称	文化財保護普及事業			所属名	教育総務課 文化財班																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			文化財調査と指定については、文化財保護・普及の立場から、対応していきたい。埋蔵文化財の発掘調査については、市内での開発行為に左右されるので、現状維持で対応せざるを得ない。																					
			<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続																								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>						経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	発掘調査の経費については、現在の発掘調査は開発行為に伴うものなので、予測不可能。市指定文化財の文化財の保護のための補助金は、有形文化財の管理・周辺の整備が継続的に行われ、民俗文化財の継承が図られる。
		経費																									
		削減	不変	増加																							
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	不変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
<p>経年劣化の著しい指定説明板の更新が求められている。 出土文化財の整理保管の一元化が求められている。</p>	

所属長コメント	<p>市内にある貴重な文化財や伝統文化について、市民の理解を図ると共に、次代へ継承していくために市が指定を行い、所有者等が行う保存・管理等に対し支援をすることが必要である。また、指定文化財について、市民の利便に供するため、説明板が設置後年数の経過等により内容が不鮮明になっているもの等については、順次、予算確保の上、更新等の措置を講ずる必要がある。 埋蔵文化財調査については、市が直接実施することを前提に、国・県の補助を受けて行う事業であることから民間委託等の事務の見直しは難しいと考える。</p>		
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続		
	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。		